

Sapid インストールマニュアル

– Ubuntu(64bit) –

愛知県立大学 3年 大久保研究室所属
黒河 聡

2015年12月15日

1 インストール環境

Sapid をインストールした環境，及びパッケージは以下の通りである．

表 1 インストール環境

OS	Ubuntu15.04(amd64)
g++	4.9.2
flex	2.5.39
bison	3.0.2
openjdk	1.8.0.45
ant	1.9.4
tk-dev	8.6.0
tcl-dev	8.6.0
xutils-dev	7.7
libxml2	2.9.2

1.1 各環境のインストール

Sapid をインストールするために必要なパッケージを apt-get を用いてインストールする．
apt-get を使ってパッケージをインストールする前に以下のコマンドを実行しアップデートする．

```
$ sudo apt-get update
```

アップデートが終わったら以下のようにコマンドを実行しパッケージをインストールする．

```
$ sudo apt-get install g++
$ sudo apt-get install flex
$ sudo apt-get install bison
$ sudo apt-get install openjdk-8-jdk
$ sudo apt-get install ant
$ sudo apt-get install tk-dev
$ sudo apt-get install tcl-dev
$ sudo apt-get install xutils-dev
$ sudo apt-get install libxml2-dev
```

1.2 JAVA_HOME の環境設定

~/.bashrc に以下のように JAVA_HOME のパスを追加する.

```
JAVA_HOME=/usr/lib/jvm/java-1.8.0-openjdk-amd64
export JAVA_HOME

PATH=$JAVA_HOME/bin:$PATH
export PATH
```

以下のコマンド実行し, ~/.bashrc を読み込む .

```
$ source ~/.bashrc
```

2 Sapid のインストール

2.1 Sapid のソースのダウンロード及び解凍

最新版の Sapid のソースファイルをダウンロードし、解凍する。今回ダウンロードしたバージョンは 6.104.4 である。

2.2 tcl,tk のバージョンへの対応

インストールした tcl,tk のバージョンは双方共に 8.6 である。しかし現在の Sapid のバージョンは 8.5 に対応するように設定してあるためエラーが発生する。したがって、ファイル内の記述を変更しなければならない。

解凍したフォルダを<SAPID_TOP>とし、<SAPID_TOP>/Sapid/SapidSite.def を以下のように変更する。

変更前

```
173: /* #define SapidTclIncDir /usr/local/include */
174: /* #define SapidTkIncDir /usr/local/include */
175: /* #define SapidTclLibDir /usr/local/lib */
176: /* #define SapidTkLibDir /usr/local/lib */
177: /* #define SapidTclVersion 8.0jp */
178: /* #define SapidTkVersion 8.0jp */
```

変更後

```
173: #define SapidTclIncDir /usr/local/include 8.6
174: #define SapidTkIncDir /usr/local/include 8.6
175: #define SapidTclLibDir /usr/local/lib 8.6
176: #define SapidTkLibDir /usr/local/lib 8.6
177: #define SapidTclVersion 8.6
178: #define SapidTkVersion 8.6
```

変更後、次のコマンドを入力するとインストールが完了する。

```
$ xmkmf -a 2>&1 | tee XMKMF_LOG
$ make 2>&1 | tee MAKE_LOG
$ sudo -E make install 2>&1 | tee INSTALL_LOG
```

3 テスト

テストを行う前に ~/.bachrc に以下の記述を追加し,source コマンドで読み込む.

```
if [ -f /usr/local/Sapid/lib/SetUp.sh ]; then  
  . /usr/local/Sapid/lib/SetUp.sh  
fi
```

またホームディレクトリに /usr/local/Sapid/sample/test をコピーしてからテストを行う.

```
$ cp -r /usr/local/Sapid/sample/test ~/Test
```

3.1 dhrystone-2.1

まずは dhrystone のテストに必要な sutbs-32.h をインストールする.

```
$ sudo apt-get install libc6-dev-i386
```

~/Test/dhrystone-2.1 に移動し以下のコマンドを実行しテストを行う.

```
$ mkSapid -a  
$ make test-all
```

コマンド実行後,

```
Sapid: Test: dhrystone-2.1: Passed
```

と表示されればテストは成功となる.

3.2 java-zip

~/Test/java-zip に移動し, dhrystone-2.1 と同様に, 上記のコマンドを実行しテストを行う.

```
Sapid: Test: java-zip: Passed
```

と表示されればテストは成功となる.